

コロナ禍後の地域社会をどうつくるか

—中山間地域での実践から考えるオルタナティブ—



記念講演

島根大学 法文学部

教授 関 耕平

講師プロフィール

1978年、秋田県生まれ。岩手大学卒業後、一橋大学大学院修了。

2005年に島根大学法文学部着任、2020年4月から同教授。地方財政担当。

現在は、中山間地域や離島における地域づくりと自治体の役割に関心を持っている。中国山地での神楽鑑賞が楽しみ。

講師からのメッセージ

中国山地は、「解体と再生のフロンティア」とも呼ばれています。

最も早く過疎化が進行し、地域の解体が進みましたが、地域再生に向けた取り組みも真っ先に始まって、今も注目すべき動きがたくさん蓄積されつつあります。「小さな拠点づくり」をキーワードに、国の危険な狙いに警鐘を鳴らすとともに、地域での先進的な実践がどのように展開されているのか、お話しします。

また、農山村での取り組みは、都市によっても支えられなければ成り立ちません。都市—農村関係、地域社会のあり方をも考えたいと思います。

と き **2021年12月4日(土)**

13:30~17:00

と ころ **広島県健康福祉センター 小会議室**

広島市南区皆実町1-6-29 TEL:080-1644-5508/FAX:082-254-1168

特別報告

①ジェンダー視点でみた広島県政

(新日本婦人の会広島県本部・大平 由美子)

②「コロナ禍と地域医療」 (広島県医労連・藤本健)



広島県健康福祉センター